

# 第7回 あわら市9条の会しゃべりの場 ~~講演会~~

小野寺ご夫妻が語る <sup>と</sup> お話し <sup>合おう</sup>

## 脱原発への思い、裁判に関わって思うこと

講師 小野寺恭子さん 「福井から原発を止める裁判の会」事務局次長

小野寺和彦さん 「福井から原発を止める裁判の会」記録係

\*小野寺ご夫妻の簡単なプロフィールは、裏面をご参照ください。

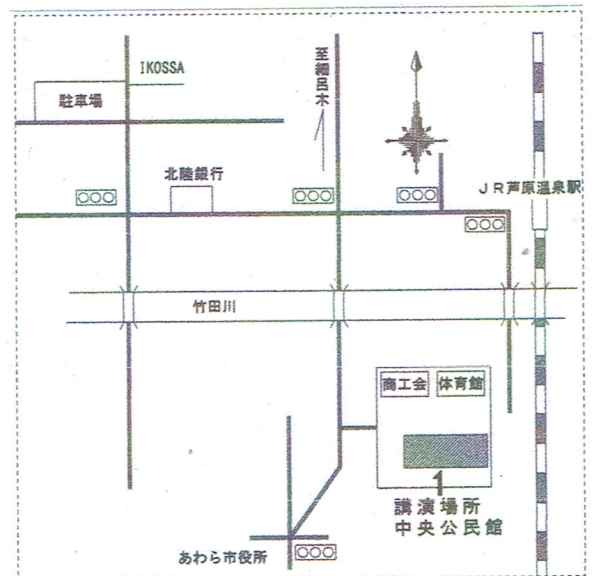
◆日・時 6月24日(土) 14時より

- ・講演 お話し 14時~15時
- ・意見交換 15時~16時

◆ところ あわら市中央公民館

あわら市市姫1丁目9-18 TEL73-2000

◆会費 300円(会場費・資料代)



お話し  
講演及び意見交換に当たって

小野寺さんご夫妻は、献身的に「裁判の会」の活動をされています。

昨年5月、福井地裁で大飯原発3,4号機の運転差止め判決が出ました。

同じく福井地裁で今年4月高浜原発3,4号機の運転をしてはならないという仮処分決定が出ました。

こうした画期的な判決が出る中で、どのようなこと

を、ご夫妻は感じられたのでしょうか。

原発を動かさないでと願う多くの人々と共感出来るお話になります。

ぜひともご参加を!

◆主催 あわら市9条の会 (連絡先 090-3292-9029 中野)

## 簡単なお夫妻のプロフィール

### ■小野寺恭子

・現況→真宗大谷派隨應寺坊守、主婦（と言えるか！？）、「福井から原発を止める裁判の会」（事務局次長）を中心にして脱原発のための市民運動に参画。最近では福島の避難者支援に関心（味噌作り等々）。  
・経歴等→1956年生まれ。福井県の旧清水町の寺の長女として生まれる。新潟大学教育学部卒業。養護教諭、小学校教諭などを経験して45歳で退職。



### ■小野寺和彦

・現況→真宗大谷派隨應寺住職、フリーランス医学薬学翻訳者、趣味は速攻登山、山スキー、周囲の里山整備、薪作り等。「福井から原発を止める裁判の会」の記録係。



・経歴等→新潟県新潟市生まれ。27歳までそこで過ごす。その間、新潟大学教育学部へ入学して同大農学部を卒業。青年海外協力隊でネパールへ。その後、福井で農業共済組合連合会職員に。市民運動として東ティモール支援に関わる。45歳で退職。50歳になる前に医学翻訳業（究極のポータブルスキル）を軌道に乗せる。出版本・・・『開発援助の見方・考え方』、『世界の先住民』、『インドネシアの先住民と人権問題』・・・いずれも翻訳書で明石書店から出版。『ふくい伝統野菜』（共著、福井新聞社）など。

会の中で話したいこと 全部は無理なので脱原発への思い、裁判に関わって思うことにさせていただきます。

### ■小野寺恭子

脱原発への思い、裁判に関わって思うこと、福島避難者への支援、寺とは何？

### ■小野寺和彦

「福井から原発を止める裁判の会」の記録係として思うこと（「記録」することの意味、未来へのメッセージ）、脱原発の向こうにあるもの（原発のないファシズム v.s. 原発のある民主主義、目的とプロセス・手段との関係）、里山整備でやっていること（草刈り、孟宗竹の伐採、株立ち促進、道づくり（石段作り）、風の通る谷・森、未来への遺産）

